

(第3種郵便物認可)

新興企業に投資拡大

SBIインベストメント 150億円ファンド組成

SBIインベストメント(東京都港区、北尾吉孝社長、03・6229・0126)は、地方の金融機関が融資する新興企業などへの投資を拡大する。最大150億円規模のファンドを月内にも組成し、バイオ・ライフサイエンスなどの新興企業へのリスク・マネーの供給のほか、国内外企業とのビジネスマッチングを通じて地方の中小企業の事業拡大を支援するのが柱。地方の産業創出につながる企業への投資を通じて、安倍晋三政権の目玉政策の一つ、ローカル・アベノミクスを後押しする考えだ。

地方産業創出後押し

重点的に投資する分野
 はバイオ・ライフサイエ
 ンスのほか、環境・エネ

ルギーやロボット、情報
 通信技術、農業。出資以
 外にも取締役派遣など経

営全般に積極的に関与
 し、企業の成長に道筋を
 つける方針だ。

1件当たりの投資額は
 最大10億円で、5000
 万―1億5000万円が

中心になりそうだ。投資
 期間は最長6年4カ月
 で、投資リターンに当た
 る内部収益率(IRR)
 を20%以上に設定。これ
 らの基準を満たす50―1
 00社に投資する。

すでに数行の地銀と共
 同出資したファンドを運
 営しているが、全国に投
 資対象を広げるためにリ
 ッキービジネスソリュー
 ション(東京都千代田
 区)とも提携した。全国

各地の金融機関へのコン
 サルディング業務で実績
 のある同社と手を組むこ
 とで、効率的に投資案件
 を選定できる見込みだ。

地銀などの地方金融機
 関は人口減少に伴って融
 資先、貸し出し規模が縮
 小しており、金融庁も地
 銀の統合に言及するなど
 再編機運も高まっている

る。SBIインベストメ
 ントはサイバーダイナ
 リプロセル、ユークレナ
 などへの投資実績があ
 り、累計投資額は約36
 00億円、投資先社数も
 626社と豊富だ。地方
 に眠る革新的な技術、ビ
 ジネスモデルを掘り起こ
 し、地方経済の拡大につ
 ながる考えだ。